

展覧会プレスリリース

「第22回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

The 22nd Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

時代を創造する者は誰か！

1954年、岡本太郎 43歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996年、岡本太郎没、享年 84歳。

その直後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO 賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。今年で22回目をむかえた本賞では、416点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、25名（組）が入選をはたしました。

作品は、様々な機会をとらえて公表するとともに、川崎市岡本太郎美術館「第22回 岡本太郎現代芸術賞」展にて公開いたします。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、「ベラボーな」（太郎がよく使った言葉です）作品をご覧ください。



開催概要

会場	川崎市岡本太郎美術館 企画展示室
会期	2019年2月15日（金）～4月14日（日）
主催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日	月曜日、3月22日（金）
観覧料	一般700（560）円、高・大学生、65歳以上500（400）円 中学生以下は無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※本料金で常設展もご覧いただけます。
同時開催	常設展 2025年大阪万博開催決定記念 「ファンタジック TARO」展（会期：1月18日（金）～4月26日（金））

入選者（50音順）

Art unit HUST （遠山 伸吾、臼木 英之） 革命アイドル暴走ちゃん 佐野 友紀 田島 大介 藤原 史江 宮田 彩加	秋山 佳奈子 井口 雄介 風間 天心 塩見 亮介 田中 義樹 本堀 雄二 吉田 絢乃	赤穂 進 大槌 秀樹 梶谷 令 瀧川 真紀子 服部 正志 MA JIAHAO	イガワ 淑恵 岡野 茜 國久 真有 武内 カズノリ 檜皮 一彦 宮内 裕賀
---	--	---	--

 出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品 他 25点

 審査員（50音順）

榎木 野衣： 美術批評家／多摩美術大学教授
 平野 暁臣： 空間メディアプロデューサー／岡本太郎記念館館長
 北條 秀衛： 川崎市岡本太郎美術館館長
 山下 裕二： 美術史家／明治学院大学教授
 和多利 浩一： ワタリウム美術館キュレーター

 関連イベント

1) 第22回 TARO 賞ギャラリートーク

第22回 TARO 賞入選作家によるギャラリートークを行ないます。

開催日：2/16（土）、3/10（日）、3/24（日）、4/7（日）、4/14（日）（予定）

開催時間：14：00～（予定）

料 金：要観覧料

2) お気に入りを選ぼう！

展示されている入選作品の中から、来館者にお気に入り作品を投票していただきます。投票の結果は、ホームページ等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

日 時：2月15日（金）～3月31日（日）

場 所：ギャラリースペース

結果発表：4月2日（火）（予定）

※展示作品をご覧になるには、観覧料が必要です。

3) お手紙プロジェクト

作品への感想などを共有する「お手紙プロジェクト」。来館者に入選作家や作品に対してメッセージを書いてもらう企画です。

日時：2月15日（金）～4月14日（日）

場所：ギャラリースペース

※その他イベント、イベントの詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

写真撮影・SNS等への画像掲載について

本展覧会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS等への発信も可能です。会場や作品の写真がSNS等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

お問い合わせ先
 川崎市岡本太郎美術館
 展覧会担当：片岡、大杉、北川
 広報担当：佐藤 (pr@taromuseum.jp)
 TEL：044-900-9898 FAX：044-900-9966